

【つくば市農地利用最適化推進委員の応募の状況】

1.被推薦者及び応募者一覧

※内容は推薦書及び応募申込書による

No.	氏名	性別	職業	年齢	区域
1	中野 実	男	農業	67	第2区
2	大塚 寛治	男	大規模稲作生産法人 従業員	78	第8区

【つくば市農地利用最適化推進委員の応募の状況】

2.個人による推薦

[illegible]

【つくば市農地利用最適化推進委員の応募の状況】

3.法人又は団体による推薦

[illegible]

【つくば市農地利用最適化推進委員の応募の状況】

4.自ら応募

No.	氏名	性別	職業	年齢	経歴	農業経営の状況	応募する区域	応募の理由	農業委員会 の委員への 応募の有無
1	中野 実	男	農業	67	昭和57年4月 つくば市役所勤務 令和4年4月 就農 令和6年6月 農地利用最適化推進委員就任	経営作物：芝 経営面積：14.436㎡	第2区	40年の行政経験を生かして、農業者の声を聞き、関係者と調整しながら、担い手への農地集積や遊休農地の解消に取り組み農地の有効活用に貢献したいと考え、引き続き担当したく応募しました。	無
2	大塚 寛治	男	大規模稲作生産法人 従業員	78	1977年3月：九州大学大学院博士課程卒・農学博士 1977年4月～2013年3月：農林水産省・農業研究機関（中央農業総合研究センター・野菜茶業試験場等歴任） 2006年4月～2009年3月：中央農業総合研究所・農場長 2013年4月～2022年3月：JICA（国際協力機構）筑波センターの事業受託機関、NPO法人IFPATにて稲作機械化栽培技術の指導員 2022年12月～2024年3月：筑波大学発ベンチャー企業・MoBiolテクノロジー株式会社にて微細藻（ボトリオコッカス）を栽培する 2024年3月～現在：農業生産法人 宮本ファームリー・在職中	経営作物：水稻 経営面積：約100ha	第8区	水田作や野菜作の近代化を目指す機械化栽培システムの研究開発・実証活動をしてきました。一般には余り知られていませんが、つくば市には全国トップクラスの大規模稲作生産法人があり、活力の高い営農を続けています。つくば市をそのような農業生産法人が集う、先進総合科学技術の町として全国に売出したいと考えています。	有